

おばあちゃんの手ぼうの手

本通小学校三年 しゅりゅう心

ぼくは、おばあちゃんのおにぎりがかさい
でーばん大好きです。いつもおながかすくと
「ばーちゃん、おにぎりつくってー。」

と、キッチンにいるおばあちゃんにおねがい
をします。すると、「おはあちゃん、人は、
「はい、はい。こんぶでいいですか？」
とえがおでこたえてくれます。たまには、の
りのサービスデーがあつて、のりが一まい多
くついできます。ぼくは、サービスデーを海
しみにしています。

おばあちゃんのおにぎりがおいしいのは、
おこめがちかうのかなと思つて、あうちのあ
こめをおなじにして、おにぎりをつくつても
らつたけれど、やっぱりおばあちゃんのおにぎ
りとおなじあじにはなりません。ぼく
は、おばあちゃんがおにぎりをつくるところ
をのぞいて見ても、みづはみづからず、おば
あちゃんの手はまほうの手だと思いました。

「とごちが、えんなおばあちゃんのおにぎり
のあげが、少しかわりました。ふしおに思っ
ておばあちゃんに聞いたら、
「手があれて、いたくて手でおにぎりがつく
れないから、ラップでおにぎりをつくってる
んだよ。」

とおばあちゃんが言いました。

ぼくは、とても心ばいになりました。ぼく
に何かでできないかと、りょうりちまふだつた
り、あらいいものを作したりしました。おにぎり
とじぶんでつくってみました。だけじゃ、ば
りおばあちゃんのおにぎりみたいにおいしく
ありませんでした。

おばあちゃんか、

「みんなにおいしいものをたべさせたいとい
う気持ちがりょうりちおいしくするんだよ。」
と、おしえてくれました。

おばあちゃんのまほうの手のひまは、家
をくち思いうちをくち思ふことかできま
した。